



邑楽町立邑楽南中学校 学校だより

おうなん

令和3年9月16日(木)

発行 邑楽南中学校

第10号

mail:oramijh@muse.ocn.ne.jp



「学校評価」に協力していただき ありがとうございました！

7月に実施した第1回学校評価では、初めてICTを活用したアンケートを実施しました。大変お忙しい中、協力していただきまして誠にありがとうございました。多かった意見や早急に対応すべき内容から対応したいと考え、早速開門時間の変更をさせていただきました。また、ご意見やご質問をいただいた保護者の方には、学校としての回答を随時お伝えしていきたいと思っております。

1. 本校のよいところ（生徒、保護者、教職員がA）

- ②お子さんのことで、学校からの電話や家庭訪問等で連絡を取り合っている。
- ③三者面談や保護者会に参加している、学校と情報を交換している。
- ⑧学校は、悩みやいじめの解消に努めている。
- ⑫朝食をとっている。（生徒と保護者のみ）
- ⑬1日6～9時間の睡眠時間をとっている。（生徒と保護者のみ）
- ⑭運動や文化活動／スポーツに積極的に取り組んでいる。（生徒と保護者のみ）
- ⑮学校は、施設や設備の安全管理や危機管理を行っている。通学路の点検や登下校時の安全指導を徹底している。
- ⑯学校は関連機関と協議し、不審者対策や危険箇所の対応策をとっている。
- ⑰学校は、避難訓練を通して、具体的な避難方法について指導している。



<②、③について>

学校は保護者の皆様に学校の様子分かるように伝えているかという項目については、大変よい評価をいただきました。学校としては、今年度も新型コロナウイルスの影響で、残念ながら行事を中止せざるを得ず、家庭訪問の代わりに全学年で三者面談を5月に実施しました。授業参観も実施できませんでしたが、7月に全学年で保護者会を開催することができました。今後も感染状況に応じて、保護者の方と情報交換ができるよう行事を工夫し、通知や電話、連絡メール等でこまめに学校のことを伝えられるようにしていきたいと思っております。

<⑫～⑭について>

朝食、十分な睡眠時間、運動や文化活動への積極的な参加は、基本的な生活習慣の要です。新型コロナウイルスに負けない健康な体を維持することは、命を守ることです。また、空腹や睡眠不足では、授業を受けても、理解する力が働かず、効率が悪くなってしまいます。さらに、9月もまだ暑い日もありますので、朝食抜きは熱中症のリスクも高まります。規則正しい生活を送ることができるよう、今後ご家庭の協力をお願いいたします。

<⑰について>

今年度は、いつ行うかを予告しない避難訓練を6月に初めて実施しました。その時期は、毎日雷注意報が出され、放送で帰宅を促したり、逆に待機を指示したりする日が続きましたが、生徒たちは自分の身を守るために、適切に速やかに行動していました。

雷雲の動きを予測することは、本当に難しいです。天気予報の雨雲レーダーでは、1時間後に大きな雷雲が来る予測となっていたため、部活を中断させて生徒を帰しても、1時間後には雲がすっかり消えてしまったり違う方向に行ってしまったこともありましたが、その時の状況に応じて、危機回避ができる生徒は素晴らしいと思っております。急な予定変更に対する保護者の皆様のご理解とご協力にも、心より感謝申し上げます。

2. 改善すべきところ（生徒、保護者、教職員のどれかにCまたはDがある）

- ⑥家庭学習を毎日1時間以上している。
- ⑦進んで読書に親しんでいる。
- ⑪家庭でお手伝いをしている。
- ⑱進路学習や啓発的な体験活動を通して、自己の生き方を考えている。
- ⑲将来の夢や希望をもち、進路について親子で話し合っている。



<⑥、⑦について>

学校は学ぶ場であり、家庭での学習や読書の項目が今年度も低かったことは非常に残念です。5月に行われた全国学力・学習状況調査の結果では、授業中の学習に対する姿勢や態度、例えば、「話し合う活動では、相手の話を受け止め、自分の考えをしっかりと伝えていましたか」という質問は、県や全国をはるかに上回るよい結果でした。しかし、「1日にゲームをしている時間はどれくらいですか」という質問に、「3時間以上」と答えた生徒が約半数いました。全国の結果は約3分の1程度ですので、全国と本校の差が最も大きかった質問の1つです。つまり、本校の特徴を簡単に表すと、『**授業ではとても頑張っているが、家庭学習時間が少なく、ゲーム時間が長い生徒が多い学校**』と言えます。

5月に来た教育実習生が皆さんにメッセージを書いてくれましたが、今勉強していることは、一つ一つ意味があり、将来必ず役に立つ基礎的な知識・技能です。学校で理解したからと安心せず、家庭で繰り返し学習して、しっかりと定着させるようにしてほしいと思います。

<⑱、⑲について>

今年度も2年生の職場体験学習が中止となってしまいました。実際に職場に行って体験学習する貴重な機会であり、中止は本当に残念です。今後、実際に働く人の話を聞いたり手紙を読んだりできる機会を今年度は設定していく予定です。

自分の人生は自分で決めていくものですが、決めるまでには自分で情報を調べたり他の人の意見を参考にしたりする必要があります。また、職業に就くために、大学や専門学校等に通って専門知識・技能を得たり資格を取得したり、試験等に合格する必要があるものもあります。中には、倍率が何十倍、何百倍と高いものもあります。合格するには、やはり自分で努力するしかありません。何かの歌詞にありましたが、「夢なんて見るものじゃない、叶えるものだ」という強い気持ちで頑張してほしいと思います。まだ、夢が見つからない人は、どの職業にも就けるような、幅広い知識や技能を身に付けておけば、選択肢が広がります。

保護者の皆様、折に触れてご家庭で進路についての話し合いを持ち、経験談やアドバイスをお子さんに伝えてください。

3. 主なご意見・ご質問

Q: 授業参観が行われていないので、授業の様子を参観できると嬉しいです。上映会やオンライン配信はできませんか。

A: 学校も授業参観を実施したかったのです。そして、授業参観が実施できる方法を検討しましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考えると難しいと思われれます。特に1年生の教室は、35名が教室にいただけでも密に感じる状況で、保護者の方に見ていただくスペースをとれない状況です。今年度は大規模な改修工事があり、生徒一人が通れるのがやっとという廊下が狭くなっているところが何カ所もあります。特別教室も工事をしているので、授業を見ていただく保護者用の部屋も確保できない状況です。工事が終了するまでにかかり時間がかかるので、今年度中の実施は難しいと考えております。オンライン配信については、個人情報に関係するので、情報の安全性を含めて今後検討していきます。

Q: 外履きの靴を白以外も可にしてほしい。1学期の中間テストを設定してほしい。定期テストの日数を増やしてほしい。等

A: 「学校生活を変えたい」「校則を変更したい」という要望があるのは当然のことです。その場合、生徒総会等で生徒自身から要望を出し、生徒会や先生とともに検討していく方法があります。今年の生徒総会では、「熱中症対策のために帽子が必要」という意見が出され、生徒会中心に素材やデザイン等を考え、来年度から使用できるようにすることになりました。自分たちで意見を出して学校生活をよりよいものにしていくことを「自治」と言います。邑楽南中で学校生活を送るのも、学校の歴史を変えるのも生徒です。学校は、未来を生きる生徒たちにこの自治力を育成したいと考えています。生徒たちから意見や代案を出して議論し、学校を活性化させ、よりよい「邑楽南中」を創造してほしいと思います。



